

「春彼岸を終えて」

今年の春のお彼岸は、長岡西病院ビハール病棟仏堂において彼岸会の法要を勤めさせて頂きました。私は、法話の担当をいただき、改めて彼岸の勉強をさせて頂きました。彼岸は先祖供養とともに、いま生きている私たちがいかに生きるかという事を教えてくれる期間であります。

「自分の幸せだけを考えず

自分の生きていることが人の幸せにつながるよう

他の幸福のために奉仕しましょう。

そういう生き方こそ、生きる喜びを感じられます。」

瀬戸内寂聴

「もし自分の行いが他の幸福のためにならない行いと気づいたら、呼吸を整え静かに坐りましょう。

そして再び、自分の生きていることが人の幸せにつながるよう日々精進しましょう。」

彼岸を終えて改めて六波羅蜜を学び、他のために自己を向上させねばならないという生きか^サに気づか^下させてもらえた春彼岸に感謝します。